

「国のリーダーに強い発信力と経済対策を求める声 ～企業、消費者団体、NPO 等が結束する生団連会員へのアンケート」

2021年9月27日、上記アンケート結果を、総裁選候補者（河野太郎 衆議院議員、岸田文雄 衆議院議員、高市早苗 衆議院議員、野田聖子 衆議院議員宛）に提出しました。

今後の政権運営に大きな影響を与える自民党総裁選に際して、今わが国にはどのようなリーダーが必要なのか、政治に対して声をあげていくことが主権者としての国民の在り方だと考え、緊急アンケートを実施しました。国のリーダーに対する生の温度感を伝えるため、自由記述を中心とした構成とさせていただきました。

結果、リーダーの資質として「発信力」、具体的な政策としてコロナへの支援を含む「経済対策」を求める声が多く寄せられました。発信内容はホームページにも掲載していますので、是非ともご覧ください。また、ご意見を踏まえたアンケート結果の詳細につきましては次回会報誌に掲載いたします。

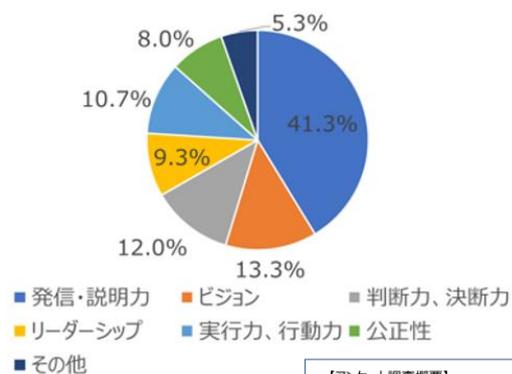
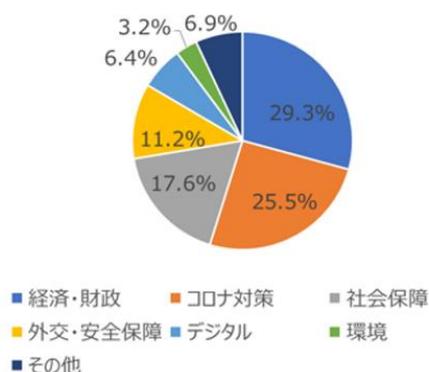
次期総裁に望むものを重要な順に 3 つお答えください。

政策（ 188件 ）

- 1位 経済・財政 (55件)
- 2位 コロナ対策 (25件)
- 3位 社会保障政策 (20件)

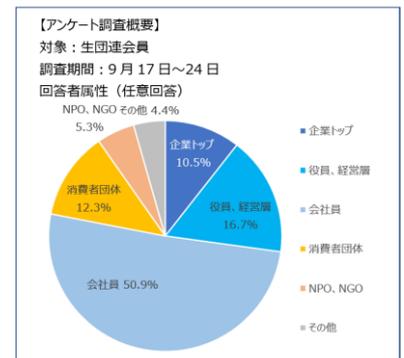
リーダーの資質（ 75件 ）

- 1位 発信・説明力 (31件)
- 2位 ビジョン (10件)
- 3位 判断力、決断力 (9件)



会員の皆様におかれましては、急なご連絡にもかかわらずアンケートに協力いただきましたこと、深く感謝申し上げます。いただきましたご意見は早急に取りまとめ、全候補者へ提出させていただきました。

また、ニュースリリースにて広く発信し、26のメディア媒体へ転載いただきました。



自民党総裁選挙 公開質問を実施

総裁選候補者に対して、生団連が取り組む国民的課題に関する公開質問を実施しました。また、その回答結果についてメディア等に発信いたしました。詳細はホームページに掲載していますので、是非ともご覧ください。

公開質問を実施した理由は、生団連の重点課題についての賛否を総裁決定前に問うためです。質問内容については、生団連がこれまで発信している提言・声明をもとに作成をしております。

結果、各候補者の様々な考えを伺うことができました。また、国のリーダー候補の考えと生団連活動との関連性を可視化でき、これからの議論につながる内容になりました。

衆院選も始まりますが、これら国民的課題について継続的に声を上げていきたいと考えております。

	有事における司令塔機能の必要性について	原子力発電 計画的縮小について	「国家財政の見える化」について
岸田氏	必要と考える。 公衆衛生上の危機発生時に、国・地方を通じた強い指揮権限を有する「健康危機管理庁」（仮称）を創設すべき。	反対。 「再生可能エネルギー一本足打法」でなく、原発、水素・アンモニア、蓄電技術、核融合などクリーンエネルギーの様々な選択肢を持つ必要がある。	賛成。 財政の「単年度主義」の弊害を是正し、長期的視点にたった戦略的な財政支出を行えるようにすべき。
高市氏	必要と考える。 スピードや実効性に課題が残ったコロナ対策策定・執行の改善は急務の課題。 国民生活と国家を守る施策執行のためには、強力な体制と司令塔機能が不可欠。	反対。 温暖化ガス排出量削減と電力安定供給を両立させるためには、原子力発電の活用が必要不可欠。	国家財政の透明性は、納税者である国民の視点に立った効率的かつ透明性の高い行政と、健全で活力ある経済及び安心で豊かな社会の実現に不可欠。
河野氏	組織や人事ばかりではなく、総理や閣僚のわかりやすい説明、さらには科学者との有機的連携、役割分担についても、徹底される必要。	安全や安心を第一に、脱炭素の実現を考え、再生エネルギーの拡大を実現できる政策に取り組む。	「連結会計や民間会計原則の導入、複数年度予算制度」については、憲法を含めた法制度等に関する課題もある
野田氏	必要と考える。 具体的な組織の形は、議論が必要。	反対。 最も重視するのは、「電力の安定性」であるため。	賛成。 民主主義国家の財政は国民のものであり、国民が理解し、国民とともに政治が考えることが最も重要だと認識。

葛飾区消費生活展へ出展

10/2（土）、3（日）で第49回葛飾区消費生活展が開催されました。

「知っておきたい・消費者の生活（くらし）」をテーマに、地域みんなで取り組むべき課題を様々な角度からわかりやすく伝えるパネル展示がなされました。

開会式では、生団連の副会長を務める東京都地域婦人団体連盟 谷茂岡正子会長がイベント実行委員長として、「正確な情報を正しく理解し、自ら考え行動する消費者を目指していきましょう」と、消費生活展の意義を話されました。

消費者問題のみならず消費者生活に関わるSDGsの紹介にも注力され、正しい情報をもとに区民の皆様が行政と協働できるよう工夫を凝らした、見ごたえのあるパネル展示となっております。

生団連は、「もったいないゼロプロジェクト」のパネル展示を行い、区民の方々と食品ロス削減に関して学びを深めました。



↑開会式でテープカットを行う谷茂岡会長

【お問合せ先】

国民生活産業・消費者団体連合会(生団連) 小坂 ☎：03-6833-0493 ✉：jimu@seidanren.jp
〒108-0075 東京都港区港南2-18-1 JR品川イーストビル8階 URL：https://www.seidanren.jp/

ニュースレター